

FAXでも受け付けます。

FAX65-4006

市民からのメッセージ

性別	男・女	年齢	歳
----	-----	----	---

今月号の特集に関するご意見

谷折り

今後、特集を希望するテーマ

谷折り

広報ながはまに関するご意見

(電話・メール・FAX)で返事を希望

※○をつけてください。

担当課からの返事をご希望の場合は、連絡先をご記入ください。

住所	長浜市
氏名	
電話 FAX	
メール	

市長
コラム

至誠通天

藤井 勇治



※至誠通天 誠を尽くせば天がと 味方してくれること

夏の祭り

今年の夏は酷暑の毎日でした。そしてまだ暑さが続きます。どうぞご自愛ください。

この夏、市内各地で夏祭りや地蔵盆が開かれ「故郷」は賑わいました。

恒例の長浜・北びわ湖大花火大会は、昭和55年から始まり、今年も絶好の花火日和に恵まれ、盛大に開催され、11万人の市民や観光客が訪れました。

夕日がびわ湖と空を赤く染めながらゆつくりと沈み一番星が光り輝くと湖面と夜空を舞台に1万発の花火が鮮やかに広がりました。今年は、ミュージカル音楽に合わせたスターメインやびわ湖をイメージした青一色の鮮やかな花火など多彩な演出で夜空と湖面がキラキラと輝きました。家族連れの皆さんから「わあ!」と歓声が上がりました。

この花火大会は、事業計画から協賛依頼、安全対策と奔走していただいた実行委員会の皆さんをはじめボランティア



▲長浜・北びわ湖大花火大会

イアスタッフの皆さんの協力の賜物です。心から感謝申し上げます。

また、今年も企業、団体、自治会、そしてご来場の皆さまの物心両面のご支援のおかげです。

歴史あるこの花火大会は、長浜の夏の風物詩として親しまれており、市民の誇りです。今後も継続していくことを祈念します。

他にもこの夏、市内各地で「木之本地蔵縁日」、「かわそサマーフェスティバル」、「長浜なつまつり」、「水とロマンの祭典」などが開かれました。

「祭」は人と人との絆を結び地域を元気にしてくれます。今年の夏も「故郷」は大勢の皆さんの再会や新しい出会い等で素晴らしい季節でした。そしていよいよ実りの秋を迎えます。

市立病院通信(89)

お元気ですか



呼吸器内科 副院長 上林 憲司

「非結核性抗酸菌症」という病気をこころしく

非結核性抗酸菌症という病気をこころしく

呼吸器科の外来を受診される人の最も多い訴えは「長引く咳・痰」です。さまざまな病気が咳や痰の原因となりますが、特に中高年の人では非結核性抗酸菌症という病気が原因であることが少なくありません。

世の中には抗酸菌という菌が存在し、その中には有名な結核菌が含まれます。この抗酸菌のなかでも結核菌以外の菌に感染した状態を「非結核性抗酸菌症」といいます。わざわざ結核菌と別扱いしているのは、多くの点で結核と非結核性抗酸菌症は異なるからです。

近年、日本では結核感染者は減少傾向にありますが、一方で非結核性抗酸菌症は増加しており今では世界でも日本が最も多いとも言われています。

結核は他人にうつる可能性があり治療しないと命に関わることもあるため、診断されると必ず治療する必要があります。しかし非結核性抗酸菌症は他人にうつることはあっても命に関わることは少ないため、軽症であれば必ずしも病気を発見と同時に治療を行う必要はなく当初は様子観察で済むことも多い病気で

非結核性抗酸菌症で多い症状は長引く咳や痰・微熱・倦怠感などで、ただの風邪と勘違いされることがあります。このような「風邪みたいな症状」が長く続いて改善せずに困っているときは、非結核性抗酸菌症を患っている可能性があります。非結核性抗酸菌症の人のおよそ8〜9割は先に述べたように早期治療は不要ですが、残りの2割弱、特に症状が多くて日常生活でも困っておられるような人に関しては早期に治療を行ったほうが良いとされています。

長引く咳や痰・微熱・倦怠感などでお困りの人は、当院呼吸器内科にお気軽にご相談ください。

岡市立長浜病院 (068-2300) (代表)